

平成18年度江東区危機管理模擬訓練 (新型インフルエンザ対応訓練)



平成19年3月12日(月)
場所：江東区保健所

目的

新型インフルエンザ患者との接触者に対して、適切な防疫措置等を講ずることにより、感染拡大を防止する。

内容

江東区内で新型インフルエンザ疑い例が発生したことを想定した訓練を行う。

陰圧テント組み立て訓練

防護服着脱訓練

陰圧テントを使用したトリアージ訓練

参加者

- 保健所・相談所職員
- 江東区医師会
- 江東区薬剤師会
- 防災課職員
- 広報広聴課職員

見学者

- 江東区議会議員
- 助役
- 総務部長
- 保健福祉部長
- 保健所運営協議会委員

新型インフルエンザ疑い例の診察・移送訓練の流れ





リフト式陰圧テント

- ・テント布の壁面及び床面が一体構造で、高い気密性が保てる。
- ・天井全面に鋼ネットがはられているため、点滴など場所を選ばず吊り下げることができ、間仕切りカーテンを任意の場所への取り付けが可能であるため、診療所、病室など用途に応じたテント内のレイアウトが可能。
- ・展開・収納が3人で5分以内に行え、工具類を一切必要としない迅速性及び簡便性を備えたシステムです。
- ・フレーム内の吊り上げ方式により展開されるため、風向きや強風に関係なく、容易に組立てることができます。展開後も、風圧抵抗が強く、ヘリコプターによる強風にも対応可能。
- ・CDC、OSHAガイドラインに準拠した陰圧システム (10Pa以上の陰圧を確保) として、オプションのフィルタースystemと併用することができる。

・原産国：フランス
以上 Normeca-Asia HPより引用



陰圧テント内部

広々約10畳のメインルームに、便利な3畳のサービスルーム付き！
HEPA filter 搭載陰圧装置完備の安心設計。
採光良好！
南向きの窓(にもできます)
冷暖房・電灯など各種オプション有

2式 460万円！
(陰圧装置は別売り48万円です)



HEPA filter: 0.15 μm以上の粒子を99.97%ブロックできる



陰圧テント

250cm

400cm

このテントを輸入しているのは Normeca Asia (ノルメカ・エイジア) という会社。ノルウェーに親会社があり、災害医療関連の資機材では名が知れています。

感染防護服着脱

脱衣は、二次汚染を防止するために、消毒・脱衣を順番に繰り返す。
手順の途中で不潔になったときは、その都度アルコール消毒すること。

ラテックスグローブ(2組)
N95マスク

予防衣(上下セパレート)
フェイスシールド



訓練の様子



具合はいかがですか？

熱っぽいんです…

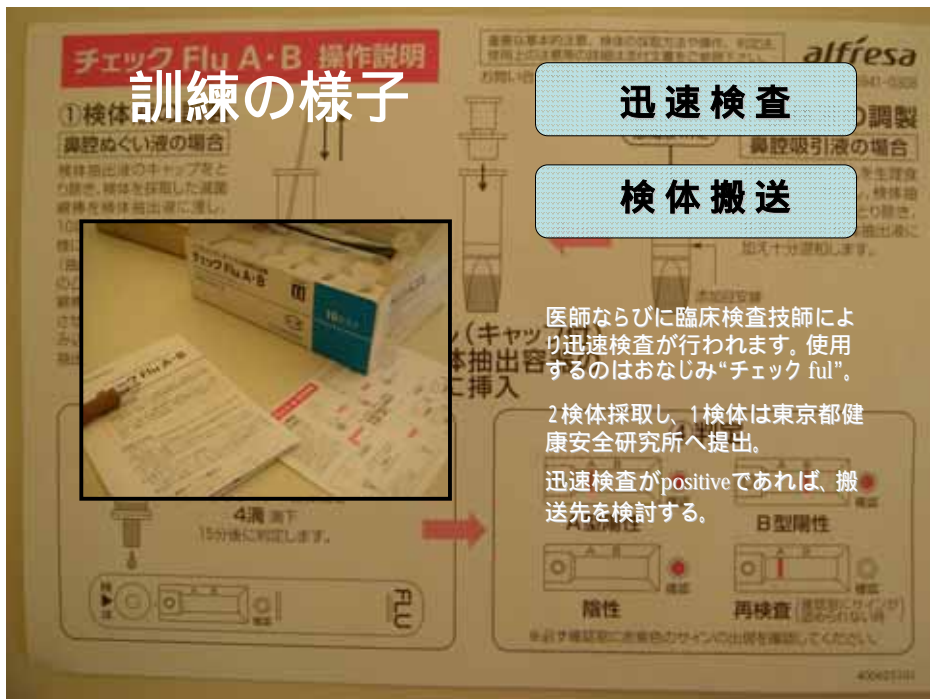
問診

診察

小さい子どもがいるので心配です

救護所に到着した患者疑い者をテント(前室)に収容し保健師が問診。その後医師が診察のうえ、迅速検査を実施。

訓練の様子



迅速検査

検体搬送

医師ならびに臨床検査技師により迅速検査が行われます。使用するのはおなじみ“チェックフル”。

2検体採取し、1検体は東京都健康安全研究所へ提出。

迅速検査がpositiveであれば、搬送先を検討する。

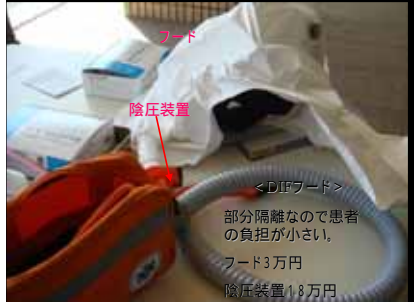


患者確定

検体搬送から約4時間後、H5N1確定と東京都から報告



訓練の様子



感染者をテント外に出すため準備。“DIFフード”という、フード内の空気に陰圧をかけ、フィルターを通して排気する携帯型の装置を装着。

＜DIFフード＞
部分隔離なので患者の負担が小さい。
フード3万円
陰圧装置18万円

江東区訓練の様子

患者移送



受け入れ先が決定したら公用車で移送します。この装備で運転するのはちょっと大変ですね…。



DIFフードをつけた患者

感染症指定病院へ向けて出発！